

第22回公開健康講座開催のお知らせ

生活習慣病から心臓を守ろう

－どうして怖い、どうして守る？－

心臓は血液を全身に送り出す筋肉で出来たポンプです。1分間に約70回、一日にしておよそ10万回も休むことなく規則正しい拍動を繰り返しています。このような働き者の心臓も、筋肉を養っている冠動脈と言う血管がつまってしまると、筋肉は死んでしまい心筋梗塞になります。心筋梗塞は突然死の原因の約6割を占めているとも考えられる恐ろしい病気です。このような心筋梗塞、または前段階である狭心症を引き起こす原因としては、高血圧や高コレステロール血症、糖尿病などの、いわゆる「生活習慣病」が注目されています。今回はこのような生活習慣病からどのようにして心臓を守るかをお話しようと思います。

東京女子医科大学 循環器内科学 教授 笠貫 宏

記

日 時：平成16年11月20日（土） 13：00～15：35

場 所：東京女子医科大学 弥生記念講堂

対 象：一般の方々

参加費：無 料

プログラム

総合司会：循環器内科学 教授 笠貫 宏

- 13:00～13:05 挨拶 医学部長 岩田 誠
- 13:05～13:30 生活習慣病は心臓にとってなぜこわい。
循環器内科学 教授 萩原 誠久
- 13:30～13:55 高血圧はなぜこわい。
循環器内科学 准講師 志賀 剛
- 13:55～14:20 コレステロールはなぜこわい。
循環器内科学 講師 鶴見由起夫
- 14:20～14:45 糖尿病・肥満はなぜこわい。
循環器内科学 講師 石塚 尚子
- 休 憩 -----
- 14:55～15:15 ストレスはなぜこわい。
循環器内科学 講師 松田 直樹
- 15:15～15:35 タバコはなぜこわい。
循環器内科学 助手 春田 昭二